

基本は、「我による」:「**私の心理学**」と「**他者の心理学**」(W.James「全宇宙の二つの部分への巨大な二分割」「世界の分割線」)

: <「**女の心理学**」と「**誰彼の心理学**」>

研究紀要 50-55ページの概略紹介

歴史的な展開の流れに沿って:

「我による<私の心理学>」、		
「我による<誰彼の心理学>」、		
「我による<女の心理学>」、		
一人称の心理学	三人称の心理学	二人称の心理学
哲学における心の考察、	自然科学的心理学	人間科学的心理学
典型: プレンターノ	ワトソン、パプロフ、	フロイト、ユング
フッサール	ロジャース、マズロー、	
禅の悟り		ジェンドリン、
	哲学から出発: ヴント・ティッチナー	円満・折衷: G.W.Allport、W.James
主要な方法: 内省・内的観察	外的観察・実験	臨床治療実践・面接 (対話・内省・外的観察・内的観察)
名称: 経験的立場からの心理学		
哲学的現象学的心理学		
内観主義心理学	行動主義的心理学	
	新行動主義心理学	
	認知心理学	人間性心理学
現象学的心理学		現象学的心理学

現代の科学的心理学は、「他者の心理学」である。

日本の心理学は、外国(独、米が中心)から「輸入された学問」である。

総ての心理学は、「我による心理学」(誰かが、一人の我として、心理学を創った、その「我による」心理学)である。

心理学者は「何でも屋でなければならない」(P. Janet)

今後に期待される、心理学の新しい展開は、何処に?

→「我による<我と汝との心理学>」 さらに、

→「我による<我と汝と誰彼の心理学>」へと発展

私は、2005夏、新しい心理学の芽生えを発見した。それは、新しい心理学の生成であった。

George Kunz(1934) (私と同年生まれであることを発見) : *The paradox of power and weakness* SUNY Press 1998

George Kunz は、強者と弱者の関係において、強者の強さと弱者の弱さのみでなく、強者の弱さ、弱者の強さを解明した。ともに、匂いを嗅ぐ。